

中国情報（畜産）

2007年12月17日号

©2007年11月における中国の畜産物及び飼料価格情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年11月における中国の畜産物及び飼料価格情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

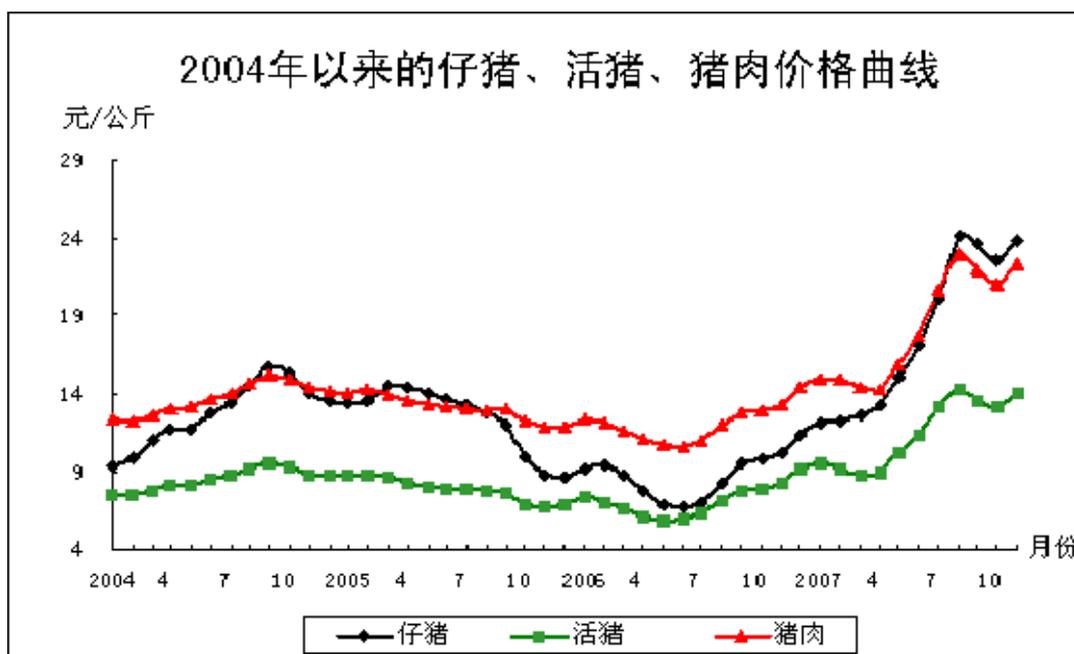
農業部畜牧業司が実施した全国450カ所の定点調査統計によると、11月の豚産品価格は反発、家禽産品価格は引き続き下落、牛肉及び羊肉（注：中国では、一般に綿羊とヤギを区別せずに「羊」と総称する。同様に、「羊肉」は綿羊肉とヤギ肉の総称。以下同じ）価格、トウモロコシ価格並びに原料乳価格は引き続き上昇した。11月の豚／穀物比（豚の販売価格に対する飼料費用の比率を表したもの。豚の販売価格÷穀物の価格で産出）は8.36で、前月比0.4ポイント上昇し、損益分岐点である5.5を15か月連続で上回った。

1 豚産品価格は反騰

2007年11月の全国の子豚、豚及び豚肉の平均価格は、それぞれ1kg当たり23.84元、14.13元及び22.35元で、前月比でそれぞれ5.4%高、7.0%高及び5.7%高となり、8月に記録した最高価格に接近しつつある。全国30省中90%の省で価格が上昇し、東北三省では上昇率が比較的大きかった。各省別には、上海市、福建省、江蘇省、吉林省、天津市で子豚価格の上昇率が10%を超えた。豚価格の上昇率が10%を超えたのは吉林省など9省で、うち東北三省では上昇率が14%を超えた。また、豚肉価格の上昇率が10%を超えたのは、北京市、河北省、山東省、青海省、遼寧省、吉林省及び黒龍江省であった。価格水準では、遼寧省の子豚価格が1kg当たり32.91元で全国最高となり、最低は山東省の14.84元であった。豚価格については、最高が青海省の17.33元、最低は新疆ウイグル自治区の12.33元であった。豚肉価格は最高が上海市の24.75元、最低が福建省の20.25元であった。

前年同月比では、子豚、豚及び豚肉価格はそれぞれ132.6%高、69.4%高及び67.4%高となった。2007年1～11月の子豚、豚及び豚肉平均価格は、それぞれ1kg当たり17.91元、11.51元及び18.33元で、前年同期比108.9%高、64.0%高及び54.0%高となった。消費面

では、需要最盛期である元日や春節（旧正月：2008年は新暦の2月7日）に向かい、市場需要は確実に増加基調にある。供給面では、7月以降に補充された豚が次々と市場に出始め、市場における豚肉供給量の増加が見込まれている。全体としては、今後の豚産品価格は高水準で推移はするものの、価格が大幅に上昇する可能性は大きくはないと分析される。



2 家禽产品价格是引き続き下落

2007年11月の全国の鶏卵平均価格は、前月比2.0%安の1kg当たり7.98元となった。価格変化については、南方地区の江西省、湖南省、海南省、重慶市、貴州省を除く全国の大部分の地区で鶏卵価格の下落が見られ、うち華北の北京市、天津市及び河北省、華東の江蘇省及び河南省、東北の黒龍江省、西北の陝西省及び新疆ウイグル自治区では下げ幅が大きく、4%を超えた。価格水準については、主産地である河北省、遼寧省、吉林省、黒龍江省、山東省、河南省、江蘇省では1kg当たり7元以下と比較的低く、最低となった河南省では6.23元となった。西南及び南方各省における価格は9元以上と比較的高く、最高となった貴州省では11.62元となった。

鶏及び丸どり家格は、それぞれ1kg当たり13.46元及び13.23元となり、前月比では2.0%安及び2.7%安となった。レイヤーヒナ価格は前月比6.8%安の1羽当たり2.90元、ブロイラーヒナ価格は15.2%安の2.84元となった。

前年同月比では、鶏卵、鶏及び丸どり価格は、それぞれ15.0%高、18.5%高及び17.1%高となった。同じく、レイヤーヒナ及びブロイラーヒナ価格は、それぞれ26.1%高及び14.5%高となった。1～11月の鶏卵、鶏及び丸どりの平均価格は、それぞれ1kg当たり7.74元、13.11元及び12.88元で、前年同期比26.1%高、29.8%高及び27.0%高となった。現在、

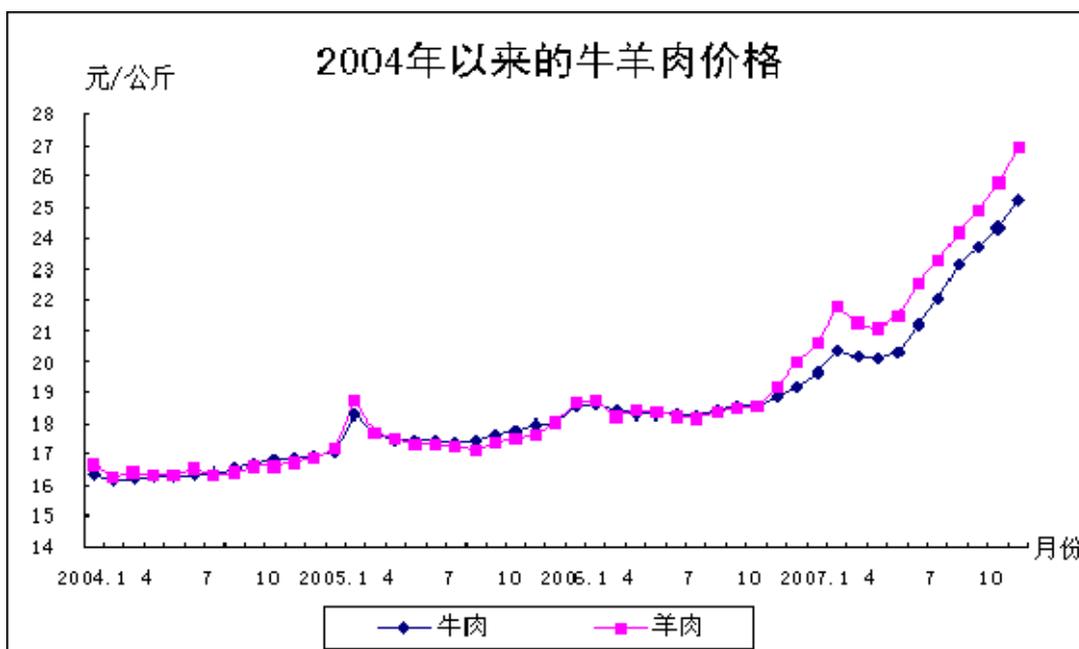
トウモロコシ、大豆粕及び魚粉価格が上昇を続け、後期の家禽飼養コストの増加は確実な情勢で、これから消費の最盛期である元日や春節に向かっていることなどから、価格が上昇する可能性があると考えられている。



3 牛・羊肉価格は安定しつつ上昇

2007年11月の牛肉及び羊肉平均価格は、それぞれ1kg当たり25.27元及び26.91元で、前月比3.7%高及び4.6%高となった。牛肉主産地である河北省、遼寧省、吉林省、山東省及び河南省における平均価格は、前月比6.9%高の25.57元となった。牛肉主要消費地である上海市、浙江省、福建省、広東省及び海南省では、同2.8%高の28.75元となった。また、羊肉主産地である河北省、内蒙古自治区、山東省、河南省、新疆ウイグル自治区における平均価格は、同5.7%高の26.13元となった。羊肉主要消費地である上海市、浙江省、福建省、広東省及び海南省では、同4.3%高の30.71元となった。

前年同月比では、牛肉及び羊肉価格は、それぞれ33.7%高及び40.3%高となった。1～11月の牛肉及び羊肉平均価格は、それぞれ21.84元及び23.06元で、前年同期比18.2%高及び24.7%高となった。2007年前3四半期（1～9月）の肉牛生産は減少傾向にあり、牛の飼養頭数がやや減少していることや、冬季に入って牛・羊肉消費量の増加が見込まれていることなどから、今後の価格は上昇基調を呈するものと予測されている。



4 トウモロコシ価格は上昇

2007年11月のトウモロコシ価格は、前月比1.8%高の1kg当たり1.69元となった。主産地である遼寧省、吉林省及び黒龍江省のトウモロコシ価格は、それぞれ1kg当たり1.52元、1.45元及び1.41元となった。前月に比べ、遼寧省及び黒龍江省はそれぞれ0.7%高及び1.4%高、吉林省同水準となった。黒龍江省のトウモロコシ価格は全国最低となったが、主要消費地である海南省では全国最高の2.16元となった。



輸入魚粉の平均価格は、前月比1.3%高の1kg当たり8.27元となった。大豆粕価格は同9.6%高の3.65円で、3か月連続で大幅な上昇かつ3元を超える水準となった。

肥育豚、ブロイラー及びレイヤー配合飼料価格は、それぞれ1kg当たり2.33元、2.52元及び2.27円で、前月比4.5%高、3.3%高及び3.7%高となった。

前年同月比では、トウモロコシ、大豆粕及び輸入魚粉価格は、それぞれ20.7%高、42.6%高及び8.2%高となった。肥育豚、ブロイラー及びレイヤー配合飼料価格は、それぞれ22.6%高、19.4%高及び18.8%高となった。1～11月のトウモロコシ平均価格は、前年同期比18.4%高の1kg当たり1.60元となった。最近、中央政府は価格抑制措置を講じたものの、トウモロコシ価格上昇の勢いは依然として変わらず、11月の価格は今年の最高記録を更新した。今後も、市場価格上昇の趨勢は変わらないと予測されている。

5 主産地の原料乳価格は上昇

主産地である北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、山西省及び黒龍江省の原料乳平均価格は1kg当たり2.28円で、前月比5.6%高、前年同月比19.4%高となった。上記6か省区市の原料乳価格はいずれも上昇を示しており、うち北京市は2.48円で前年同月比11.2%高と、上昇幅が最高を示した。天津市及び河北省の価格も比較的高水準で、ともに2.54元であり、それぞれ前月比4.1%高及び8.1%高となった。また、内蒙古自治区、山西省及び黒龍江省の価格は、それぞれ2.25元、1.92元及び2.12円で、前月比2.7%高、4.9%高及び9.8%高となった。